



砥部町

砥部町社会福祉協議会
イメージキャラクター「ホットと君」

平成27年5月1日発行

第37号
2015

社協だより



シニア世代の元気はつらつボランティア講座

〜アクティブシニアボランティア養成講座〜



高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、生活や介護に関するお手伝いができる支援者や地域での見守りネットワークづくりのリーダーを養成するとともに、研修を受講したシニア世代自身が健康でいきいきと暮らせることを目的に、愛媛県と砥部町が連携し、「アクティブシニア介護ボランティア養成事業」を実施しました。

砥部町ふれあい・いきいきサロン視察研修

〜玉川町へ〜

平成二十七年三月十一日(水)
砥部町ふれあい・いきいきサロン各代表者二十九名が今治市玉川町にある「ふれ愛茶屋」への視察研修を行いました。

ふれ愛茶屋は、サロン世話人グループが中心となり、JAの空き店舗を利用し運営しています。営業日は火・木・土で、軽食コーナーや日用品販売を実施しています。「出会い、ふれ合い、語り合い」の心でお客さんをおもてなししております。



お話し頂いたお世話人さんの「過疎地だからこそ出来たこと。この年になっても皆に必要とされていることが有難い。」との言葉が印象的でした。視察研修を受け入れて頂き誠にありがとうございました。



水回会長と行く。ふれあい・いきいき サロン巡回訪問



サロン山並

開催場所：山並集会所
開催内容：介護予防体操・白帯の旅行



地域の子も達と交流会

いきいき広瀬

開催場所：和霊神社集会所
開催内容：健康維持・交流



リズムに乗って3B体操

サロン南ヶ丘

開催場所：南ヶ丘集会所
開催内容：健康体操・歌唱



ドキドキ牛乳パック積み上げゲーム

がんじーサロン

開催場所：岩谷公民館
開催内容：七夕飾り・夏のきょうり



大迫力のどんど焼き

平成二十七年 事業計画・予算の概要

収支予算

(単位：千円)



収入		支出	
勘定科目	予算額	勘定科目	予算額
会費	1,742	人件費	91,302
寄付金	500	事務費	12,555
補助金	24,793	共同募金配分金事業費	2,582
助成金	240	助成金	1,400
受託金	14,321	固定資産取得	3,100
事業	24	その他の活動支出	10,690
介護保険等	61,197	次期繰越活動費	502
障害福祉サービス等	11,574		
受取利息配当金収入	17		
その他収入	7,723		
収入合計	122,131	支出合計	122,131

〔基本方針〕

砥部町社会福祉協議会は、地域福祉及び在宅福祉「だれもが住み慣れた町で安心・安全に暮らすことのできる福祉のまちづくり」を基盤とした総合福祉的役割を担う地域の中核機関です。

多様化する福祉ニーズへの対応が求められる中、地域の頼れる存在として、あらためて社会福祉協議会への使命・理念・行動規範を掲げ、従業員の共通認識のもと一丸となって社協運営に取り組みながら住民や地域の信頼を得ていく必要があります。

そのためには、社会福祉協議会が発展強化目標をたてて、事業評価及び組織体制への整備を図りながら、透明性のある適正な事業運営をおこなうとともに、まだまだ活動が手薄な福祉分野や地域、社会の狭間にある課題に目を向けて積極的に取り組まなければなりません。

地域福祉課では日々、ワーカーの専門性を高めるとともに、地域住民、ボランティア、民生委員、行政、関係団体等と連携強化に努め、地域福祉活動の協働参加、企画の推進を図りながら、「だれもが安心して共生できる社会へ」への実現を目指していきます。

在宅福祉事業においても、コンプライアンスに努めながら、従事者の専門知識・技術向上に日々取り組んでいき、利用者一人一人がその人らしく暮らせるよう、自立支援に向けたより良いサービス提供を行います。

自主事業

- 理事会・監事会・評議員会の開催
- 社協会費の推進
- 砥部町社協発展・強化計画の策定
- ふれあい・いきいきサロン事業
- 地域福祉活動助成事業
- 福祉教育事業
- 精神保健福祉事業
- 小地域福祉ネットワーク事業
- 在宅介護者家族の会(年3回開催)
- 簡単ヨガ講座事業
- はじめてのエアロビクス教室事業
- イベント資機材貸出事業
- レクリエーション施設整備事業
- 生きがいと創造の事業(大正琴)
- 広報誌「社協だより」の発行
- ホームページ等による福祉情報提供
- イメージキャラクターの活用
- 砥部町社協福祉フェスタの開催
- 各種研修事業の強化
- 赤い羽根共同募金運動の実施
- 赤い羽根共同募金配分事業
- ボランティア活動事業

受託事業

- 砥部町民生児童委員協議会運営事業(町)・生活福祉(県社協)／心配ごと相談所事業(町)／生活管理指導員派遣事業(町)／家族介護用品支給事業(町)／老人クラブ連合会事務局運営(町)／基本相談支援事業所の設置(町)／障がい者区分認定調査の実施(町)／砥部町老人福祉センター管理／砥部町広田憩いの家管理／パソコン要約筆記者養成講座／手話奉仕員養成講座事業



防災訓練

平成二十七年
三月十四日(土)
福祉教育事業
(児童ふれあい
事業)として、
約四十名の親子
を対象に「とべ
の防災について
学ぼう！体験し
よう！」を開催
いたしました。



親子バケツリレーの様子



ガラスの飛散を想定した卵の殻踏み体験

「とべ子育て支援団
体ほつかほか」さんを
中心に、行政、社協、
門田ガスさん、女性消
防団員がそれぞれの
防災に関するブース
や研修を設けて、防災
時に備えての知識や
地域の事などの学び
の場を提供しました。
社協では、「福祉教育」
の一環として、災害
時、自分の身を守るこ
とは大事だけれども
身近な地域の中には、
身を守りたくてもそ
れがかなわない方も

住んでいる。地域住民
を知ること、災害時、
地域の中で「共助・互
助」助け合いの関係が
非常に大切だという
事をゲームを通じ、体
験することで子供た
ち自身が理解をして
もらう学びを行いま
した。
過去を振り返って
も大きな災害に見舞
われていない地域。災
害を軽く受け止めな
いよう、定期的な取り
組みが、地域に期待さ
れます。



消防署さんによる災害時の講習会の実施



砥部町老人
クラブ連合会
研修部では、
十二月に新設
された砥部消
防署の視察、
AED講習な
どを実施しま
した。
また地域の
共通課題であ
る「災害」に
対し、少しま
も予備知識を
深め、防災に
結びつけれる
よう、砥部町
老人クラブ総
務部では、三
月に防災訓練
を開催し、砥
部町の備蓄品
の試食や砥部
消防署から災
害時の心構え
などを学びま
した。

福祉なんでも相談 始めます!!

平成 27 年 5 月から砥部町社協では「福祉なんでも相談」窓口を設置します。

福祉に関する生活上の心配ことや、困りごと福祉サービス（障害者総合支援法や介護保険など）の利用などのご相談をお受けします。解決に向けて適切な専門機関につなぐなどの総合的な援助活動をおこないます。

「福祉なんでも相談」とは？

例えば○○○

- 福祉に関する相談やサービス提供の担当窓口がわからない
- 利用できる制度を知りたい など

開設時間

月曜日から金曜日（土日祝日休み）
8：30～17：30

お問い合わせ先

TEL 089-962-7100
FAX 089-962-7186
※ 電話時に「なんでも相談の担当に」と
一言お伝えください。

担当

三谷、米澤



4月から、生活困窮者の 支援制度が始まりました

一人で悩まずに、まずはご相談ください

住まい



お金



こんなことで
困っていませんか？

家庭



健康



支援員があなたの悩みに寄り添って、どうしたら良いか一緒に考えていきます。
お気軽にご相談ください。

相談支援の流れ

～自立に向けて一緒に歩いていきましょう～

スタート

生活上の問題・
悩みを確認・
整理します。

ホップ

一緒にプラン
を作成します。

ステップ

プランに沿った
支援を行います。

ジャンプ

継続的に支援
を行います。

問題の解消

お問い合わせ
ご相談先

砥部町社会福祉協議会

TEL : 089-962-7100 FAX : 089-962-7186
メール : info@tobe-shakyo.jp



開催しました こころの講座



平成二十七年二月七日(土)
老人福祉センター集会所において「こころの講座」を開催いたしました。

この企画は、当事者の体験発表を踏まえて、現場で活躍する精神保健福祉士の講演を聞くことにより、町民の皆さまのこころの健康への関心を高めるとともに、精神疾患に対する正しい理解を深めることを目的として開催いたしました。

当日は、36名の方に御来場頂きました。

砥部町まごころ銀行

美蓉メンテナンス株式会社様

【一般寄付】

砥部町陶街道

ゆとり公園指定管理者

平成二十七年一月

平成二十七年四月

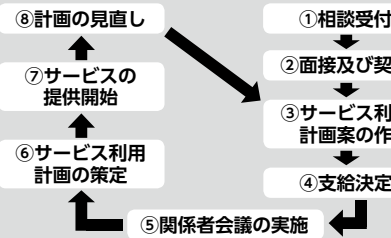
(敬称略・順不同)

あたたかい
善意を
ありがとうございました。



ヘルパーだより

計画相談の流れ



基本相談と計画相談をしている相談員の米澤です。平成二十五年四月から始まった事業で、手探りしながら二年が経ちました。

障がいのある方やその家族は、体や心に病気を抱えていることで、社会とかわたり仕事に就くことに消極的になりがちです。障



がいのある方やその家族が、地域の中で地域に見守られながら生活して行けるよう、心配なことが不安なこと、こうした、ああしたいと思ったことに耳を傾けています。

経験不足は、同僚や近隣の事業所の先輩に相談しています。あなたの思いを・・・私にお聞かせください。お待ちしております。

(指定特定相談支援事業所 砥部町社協) の紹介

当事業所では障がいのある方や、そのご家族が抱える様々な悩みやお困りごとについてご相談をお受けします。また必要な福祉サービス計画を作成します。皆様の声を聞きながら、気軽に相談できる地域の拠点となり、一緒に考え、ご希望にお応えできるよう、それぞれの夢や希望に向き合い、地域の中で誰もが自分らしく、より豊かな生活が送れることを目指しています。

平成二十七年度 社協会費のお願い

砥部町社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らし続けられる福祉の町づくり」を基本理念とし、住民のニーズにあった地域福祉・在宅福祉の事業推進に努めております。行政の補助金・受託金、共同募金、寄付金及び社協が実施する介護保険事業の収益を財源とし、事業を展開しておりますが、より一層の充実強化を図るため、皆様の協力のもと会員制度を設けております。住民の皆様からお預かりした貴重な社協会費は、地域福祉事業の重要な財源として地域に還元されています。

会員制度設置の趣旨をご理解いただき、社協会費についてよろしくお申し込み申し上げます。

併せて、区長さん・組長さんには会費集金についてご迷惑をおかけいたしますが、本年度もご協力よろしくお願いたします。

一般会員 100 3000円

特別会員(無志家・団体施設) 100 10000円

※ 会費につきましては、全戸にご協力を願っています。組入りされていない方でご賛同いただける方は、砥部町社会福祉協議会まで直接納入をお願いいたします。

※ 詳細は砥部町社会福祉協議会事務局までお問い合わせください。

☎062-7100

御協力よろしくお願
申し上げます。

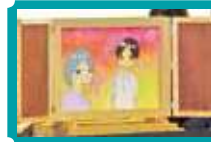




上映会のお知らせ

日 時：平成 27 年 6 月 6 日 (土) 10:00~12:00
 場 所：砥部町文化会館 2F 視聴覚室
 入場料：無料
 申 込：砥部町社会福祉協議会 TEL：962-7100
 申込み締切：5月29日(金)
 お問い合わせは土日祝日を除く月~金9時~17時
 申込み先着順で定員(120名)になり次第、締め
 切らせていただきますのでご了承下さい。

ひとりの医師と、認知症の日々を生きる妻との、15年間に及ぶ“いのち”を巡る愛の物語です。
 誰の上にも起きる可能性がある認知症という病。
 愛する人が認知症になったとき、あるいは自分が認知症になったとき、一体何が大切なのか…。
 この映画を観たとき、私たちはきっと、それぞれに思いを巡らせるでしょう。



上映会終了後
 11:30~
 認知症紙芝居&アニメーション

心配ごと相談所日程

生活上の悩みごとや心配ごとなど一人で抱え込まず、まずは相談してみてください。民生委員や社会福祉士など地域福祉関係者が心配ごとを真摯にお聴きします。法律的なご相談の場合は、「弁護士」や「司法書士」(相談料は30分以内無料ですが、30分を超えた場合は費用が必要になります。)をご紹介します。

※ 秘密は固く守られます。電話でも随時相談ごとを受け付けております。

☎962-7100



砥部町社会福祉協議会
 イメージキャラクター「ホット君」

**あなたの声を
 お待ちしています**

社会福祉協議会に関するみなさんからの
 ご意見、ご質問がありましたら事務局
 までご連絡ください。

開催場所	開催時間	5月	6月
広田老人憩いの家	午前10時~正午		2日(火)
老人福祉センター		7日(木)	
中央公民館			17日(水)
老人生きがいの家		18日(月)	



「やさしさ」を抱きしめよう

編集・発行 社会福祉法人 **砥部町社会福祉協議会**

〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南 719 番地
 (砥部町老人福祉センター内)

TEL (089) 962-7100 / FAX (089) 962-7186

メールアドレス info@tobe-shakyo.jp

ホームページアドレス <http://www.tobe-shakyo.jp/>